

科目名	感染と免疫 (Infection and Immunity)			科目コード	155
開講学科	看護学科・ 臨床検査学科	選択区分	必修	単位数 (時間)	1 単位 (30時間)
科目区分	専門基礎科目	履修時期	1 年次後期	関連DP	看②③④、臨②③④
担当教員	山田 武司				
授業概要	感染症の起原微生物の種類・構造、病原因子、微生物の滅菌・消毒法、化学療法剤の種類、主な病原微生物による感染症、感染防御に関わる免疫システムについて教授する。				
授業目標	病原微生物の種類と特徴を理解し、それらの微生物が引き起こす臓器別感染症の概要を理解する。また、免疫系のしくみと生体防御機構を理解し、感染症患者に対する基礎的知識を通じた感染防止対策・組織的活動について理解し応用力を身につける。				

授業計画

回	項目	内容
1	微生物学の基礎 (1)	微生物学の概要 1 (微生物と微生物学、細菌の性質)
2	微生物学の基礎 (2)	微生物学の概要 2 (ウイルスの性質、真菌の性質) (分類、微細構造と機能、遺伝子操作法)
3	感染とその防御 (1)	感染と感染症、感染と免疫
4	感染とその防御 (2)	感染に対する生体防御機構
5	感染とその防御 (3)	感染源・感染経路、滅菌と消毒、培養と培地、感染症の検査と診断
6	感染とその防御 (4)	感染症の治療、化学療法剤
7	感染とその防御 (5)	感染症の現状と対策、変異と遺伝、耐性と感受性、ワクチン
8	おもな病原微生物 (1)	病原細菌と細菌感染症 (グラム陽性・陰性球菌、グラム陰性好気性桿菌)
9	おもな病原微生物 (2)	病原細菌と細菌感染症 (グラム陰性通性桿菌、カンピロバクター属、ほか)
10	おもな病原微生物 (3)	病原細菌と細菌感染症 (グラム陽性・陰性球菌、グラム陰性好気性桿菌)
11	おもな病原微生物 (4)	病原ウイルスとウイルス感染症 1 (DNAウイルス)
12	おもな病原微生物 (5)	病原ウイルスとウイルス感染症 2 (RNAウイルス)
13	おもな病原微生物 (6)	病原ウイルスとウイルス感染症 3 (ウイルスの臨床的分類、ほか)
14	おもな病原微生物 (7)	病原真菌と真菌感染症、寄生虫と衛生動物
15	感染症の治療と対策	「感染症の治療と対策」DVD 視聴、ほか
成績評価方法	定期試験 (筆記試験) により判定する。	
教科書	南嶋洋一・吉田眞一「系統看護学講座 専門基礎分野 疾病のなりたちと回復の促進④ 微生物学」(医学書院)	
参考図書等	藤本秀士・目野郁子・小島夫美子「病原体・感染・免疫」(南山堂)	
授業時間外の学習について	前回の項目について配布プリント及び教科書等を参考に復習する。次回の項目について教科書等を参考に予習する。	
関連科目	155 本科目 ⇒424 微生物学 ⇒425 臨床微生物学 I, 426 臨床微生物学 II ⇒430 免疫学 (その他) 通科目 122 生物学、128 生命科学	
備考	随時必要に応じてプリントを配布する。講義内容のファイルを大学HPあるいはメールで配布することもある。	